

めでいかすとり Médicastre

一般社団法人 鶴岡地区医師会 基本理念

鶴岡地区医師会は、地域住民の健康維持・増進と健やかな長寿社会の実現のために地域に貢献するとともに、医の心を忘れず知識と技術の向上をめざし、不断の研鑽に励みながら日々前進する組織をめざします。



「長崎の夜景」

鶴岡地区医師会勉強会抄録

日時：令和7年10月3日(金) 19:00～
場所：鶴岡地区医師会館 3階講堂

『常に一流の心を ～全てのスタッフで地域医療を創る～』

藤田医科大学病院 高度救命救急センター
センター長 船曳 知弘 先生

どんなに健康な人であっても、生涯病院と無縁というわけにはいかない。なかでも、何らかの症状が急激に出現した際には救急診療に頼ることになる。また、外傷は予期せず生じるものであり、そのタイミングで病院を受診する。救急医療は地域医療の原点であり、地域医療の充実のためには、医療機関の診療時間と関係なく、必要なときに救急受診できる体制を整えておく必要がある。

日本の救急医療の現状を見ると、24時間365日、全く同じ医療を提供することは不可能である。日本には国民皆保険制度があり、すべての国民が同様の医療を受けることができる権利があるが、実情として一番差が生じやすいのは救急医療である。救急を担当する医師は、必ずしも専門分野だけ診療すればよいとは限らない。いわんや夜間休日においてをや。医療経済から見ても、物価が高騰してきている中で、病院の収入は上がり、支出が増える一方の現状があり、コストカットは人件費に向けられる。入院病棟ではベッド数に対する看護師の配置などが求められているため、看護師数が確保されやすい。しかし、救急診療においては割合が決められていないため、医師、看護師、検査技師、診療放射線技師などは減員されやすい。その領域を専門としないスタッフによるカバーが求められる。

日本人の人口は徐々に減少し始めており、高齢者の割合も増加してきている。救急診療では、情報が少ない状況の中で診断・処置が求められる。典型的な症状・所見が見られないことが多いため画像診断に頼らざるを得ないのは周知の事実である。ただ、ここで重要なのは、

「画像検査」≠「画像診断」ということである。「とりあえず画像検査をすれば、なにかわかるだろう」「画像でみえなければ、正常だろう」という考えは捨てる必要があるのである。

救急診療（たとえ時間帯当番であっても）を行ううえで必要なのは、「常に一流の心を」持つことである。すべての医師が一流というわけにはいかないが、その心を持つことは重要である。「一流」とは、様々な定義が存在する。①成果・実績に基づく定義、②普遍性・持続性に基づく定義、③姿勢・プロセスに基づく定義、④他者への影響力に基づく定義、があげられる。①は、客観的な数字によるものであり、これだけの成績があれば……というようなものであり、医療では論文数や手術数などかもしれない。②は、そこまでの数字ではなくても、それが継続して続けられているということになる。救急診療において、①②を求めているわけではなく、③④が重要である。救急受診する患者は、「担当医の専門が〇〇だから、仕方ない」という考えは持っていない。常に自分の症状を何とかしてほしいと思っている。担当する医療者側は、自分の家族と思って、診療に臨む「姿勢」が必要である。これが③に相当する。とはいえ、すべての医師が苦手分野なく診療することは不可能であり、看護師や診療放射線技師、検査技師などのスタッフの力も重要である。③の姿勢を示すことが④に影響力をもたらすことになり、職種関係なく、共に学び、共に備えることで、救急医療を支え、さらには地域医療を支えていくことができるのではないかと考えている。

観楓会、長寿祝い

日時：令和 7 年 10 月 24 日（金） 19：00～
場所：ベルナール鶴岡

去る 10 月 24 日（金）、観楓会、長寿祝いがベルナール鶴岡にて開催され、ご来賓 5 名、長寿祝い 4 名を含む会員 33 名とご家族 1 名、職員 11 名の総勢 50 名が参加しました。

保険衛生福祉担当の鈴木聡理事の司会進行のもと、福原晶子会長のご挨拶に続き、来賓の山形県医師会会長の間中英夫様（代理 県医師会副会長 橋爪英二様）、酒田地区医師会十全堂会長 酒井朋久様（代理 酒田地区医師会十全堂副会長 阿部正和様）よりご挨拶をいただきました。

次にめでたく喜寿を迎えられた伊藤享子先生、伊藤末志先生、黒澤明充先生、三原一郎先生に、当会から賀詞、記念品の贈呈があり、お一人ずつご挨拶をいただきました。なお白寿を迎えられた中里敬先生、米寿を迎えられた富田晋吾先生、丸谷紘一先生、木根淵清志先生、喜寿を迎えられた宮原信弘先生、小林洋先生、齋藤慎先生、新井昌彦先生、佐藤邦彦先生、志田秀隆先生の計 10 名の先生方は、残念ながら欠席され略歴のみのご紹介となりました。

続いて、新入会員の紹介では、荘内病院の小林祐太郎先生、わかな内科医院の荒川わかな先生がご欠席のため、福原会長が略歴のご紹介をされました。

石原良副会長の乾杯のご発声で宴が賑やかに始まり、限られた時間ではありましたが、久しぶりに顔を合わせる先生方の談笑の声が会場に広がりました。あっという間に時間が過ぎ、宴もたけなわではありましたが、菅原真樹副会長の一丁締めでお開きとなりました。

今年度はたくさんの先生方が長寿祝いを迎えられ、そのご挨拶の言葉には、まだまだ現役の医師人生のパワーを感じ、また、菅原副会長の閉会でのご挨拶「誰もやらないなら自分がやるとの気概を持って若い医師たちと協力し、医師会を引っ張っていく」という力強い言葉に、代々引き継がれて来た鶴岡地区医師会の団結力を感じました。今後も医師会パワーが継続しますように、より多くの先生方からのご参加を心よりお待ちしております。

荘内地区健康管理センター 管理部長 渡部 恵美



山形県医師会 副会長
橋爪英二先生



酒田地区医師会十全堂 副会長
阿部正和先生



黒澤明充先生・伊藤末志先生・伊藤享子先生
三原一郎先生・福原晶子会長

鶴岡地区三師会

「新たな地域医療構想」～2040年に向けたまちづくり～

日時：令和7年9月19日(金) 19:00～

場所：グランドエル・サン

鶴岡地区医師会 理事 前庄内保健所長 蘆野 吉和

■新たな地域医療構想（仮称）とは

2025年を迎え、少子（超）高齢化、人口減少が多く地域で重要な地域課題となっており、特に医療と介護ニーズを有する85歳以上の超高齢者が急増することより、医療課題として高齢者救急および医療と介護の連携が喫緊の課題となり、その課題解決には在宅医療の受け皿の拡大、社会的入院の是正、高齢者夫婦世帯、単独世帯への対応等と地域ぐるみで行うことが必要となっている。

このための、2014年度から取り組まれていた地域医療構想に変わる新たな政策が2027年度から始まることとなっている。

この施策の特徴は、①病床機能の名称を変更（回復期機能→包括期機能）し、新規に医療機関機能を位置づける、②病院に加え、外来・在宅、介護連携も地域医療構想の対象とする（地域医療介護構想）、③調整会議に、医療関係者、介護関係者、保険者、都道府県、市町村等の必要な関係者が参画し、実効性のある協議を実施する、④市町村に対して、議題に応じて調整会議への参画を求め、在宅医療、介護連携、かかりつけ医機能の確保等に努めることとする、⑤地域医療介護総合確保基金の対象に、医療機関機能に着目した医療機関の連携・再編・集約化に向けた施設・設備整備の支援を追加する、⑥地域医療介護総合確保基金の活用により、市町村による在宅医療、介護連携、かかりつけ医機能の確保等の取組を推進することが可能となる、⑦新たに精神医療を含める、等である。

■庄内地域における新たなまちづくりに向けて

2024年7月に庄内地域は地域医療構想のモデル推進区域に指定されたことを受け、新たな地域医療構想を先取りし、「住み慣れた地域での暮らしを支える保健・医療・介護・福祉のネットワーク事業」と命名した事業計画を2025年4月に国に提出した。なお、その内容は三師会の会員も供覧可能としている。



懇親会風景



第15回「鶴岡天腎祭」

日時：令和7年10月4日(土) 13:00～

場所：鶴岡市総合保健福祉センターにこ・ふる

市民公開セミナー「鶴岡天腎祭」は、平成21年に新潟大学腎医学医療センター特任教授の丸山弘樹先生（現在、新潟聖籠病院勤務）のお声かけにより、慢性腎臓病（CKD）の認知度向上や発症・進展予防を目指す生活習慣の提案などを目的として発足されました。当初から荘内病院血液浄化療法センター長である安宅謙先生主導の下、共催として鶴岡地区医師会、鶴岡協立病院、みやはらクリニック、講師の方々が所属する医院をはじめ様々な職種の方々に協力をいただき開催しております。地域に密着した医療従事者による手作りの会であり、一般市民の皆様に向けて分かりやすいセミナーにすることを目指しています。

第15回目を迎えた今回は「腎臓まるわかりセミナー～生活習慣を見直して知って得する腎臓ケア～」をテーマとして、医療法人社団久医会池田内科医院院長である渡邊秀平先生による「細菌が関連する胃腸の病気」、鶴岡市健康福祉部健康課 糖尿病療養指導士・腎臓病療養指導士である百瀬幸氏による「今日からできる腎臓に優しい生活の工夫」の2つが講演されました。また、鶴岡市立荘内病院リハビリテーションセンター理学療法主任技士である佐太木淳一氏によるワークショップ「気軽に続けられる運動療法」では、スタッフによる簡単な運動プロ

グラムを音楽に合わせて一緒に実践しました。

また、昨年度から鶴岡市健康福祉部健康課による、いきいき健康つるおか21プランに基づき開催されている健康づくり強化月間のオープニングイベントとしても連携させていただいております。今年度の参加人数は過去最高となり、延べ138名にも上りました。終了後のアンケート結果からは、約半数が70代以上であり、半数以上が初参加で未発症の方が学びを得られたことが分かりました。また、「検査結果の見方が分からなくて不安だったけど良くなった」「毎日の食事や運動習慣が大事だということがわかった」という意見がありました。一方「e-GFRなど初めて聞く言葉が多く難しかった」「専門用語がわからなかった」という意見も多く見受けられ、今後の課題と捉えております。高齢の方や初参加の方が多く、改めて市民の健康意識の高さや健康寿命を延ばすことへの興味の深さを実感しました。

「鶴岡天腎祭」は多職種の運営スタッフが一般市民目線でCKDと向き合い、地域の医療機関が協働する貴重な場と考えます。「一人ひとりがいきいきと健やかに暮らすまち鶴岡」の実現の一助となるべく今後も継続した開催を行って参りたいと思います。

鶴岡市立荘内病院 血液浄化療法センター 成澤 恵美





中目千之先生 旭日小綬章受章記念祝賀会

日時：令和7年9月23日(火)12:30～
場所：ホテルメトロポリタン山形

鶴岡地区医師会 会長 福原 晶子

元鶴岡地区医師会会長で前山形県医師会会長の中目千之先生が、令和7年春の叙勲で、種々の主要な役職を歴任され、保健・福祉の向上、地域医療の発展などに長年にわたりご尽力された功績が認められ、「旭日小綬賞」受章の栄に浴されました。その記念祝賀会が、山形県医師会をはじめとする実行委員会の主催で、中目先生と公私ともに親交が深い総勢190名の方々からご出席いただき、盛大に開催されました。

ご祝辞を頂戴した日本医師会会長 松本吉郎様は、日本医師会地域医療対策委員会で中目先生とご一緒され、当時、中目先生から激励されたことがその後の医師会活動の支えになられたと、涙を流されながらのスピーチとなり、大変感動いたしました。

中目先生が県医師会会長在任中に、山形県と協定を結び、各種事業や活動が県と協働して良好に展開されたと、吉村美栄子知事がご祝辞の中で述べられました。コロナ禍の際は、強いリーダーシップを発揮され、県内各地区医師会でPCR検査に取り組んだことは記憶に新しいところです。鶴岡地区医師会会長時代には、健康管理センターの新築移転は最も大きな事業となりましたが、その頃の思い出を出席した医師会職員が祝辞の中で披露されました。

その後は、記念品贈呈、謝辞、山形舞子による「寿三番叟」の祝舞、鏡開き、乾杯と、和やかな中にも華やかで楽しい祝宴が続きました。ワイン好きの中目先生らしく、地元鶴岡のワイナリーの受賞ワインが用意され、ワインの持ち込みで会場のあちらこちらで著名なワインが抜栓され、出席されたワイン好きの方々の笑顔が広がっていました。皆さんが心からこの度の受章を祝福していることがわかる、良い会だったと思います。



YBCラジオ「ドクターアドバイスで きょうも元気」ラジオ出演体験記

・「ドクターアドバイスで きょうも元気」収録記

三川病院 島田 高志

言語不明瞭、支離滅裂な頭なので、「教養番組」のために内容をまとめるのは苦手なのです。

しかし、また依頼を引き受けてしまいました。やっぱり、本物のスタジオにいてアナウンサーの方とやり取りするって言うのが、非日常的で楽しいですね。好きな曲をかけて、一寸だけDJ気分になって蘊蓄を語るのも面白い。それで、曲をかける時間は2分20秒しかないのにどうでもいい話で、曲の時間が1分一寸になってしまったりして……。

今回は夢の話をして頂きました。個人的に明晰夢と言う物に関心があります。夢の中で「これは夢なんだ」と分かってしまう夢の事なのです。大変興味深いと思い、それだけ話そうかとも思ったのですが、関心ある人となない人とはっきり分かれ、夢と言う問題を医学的にとか

言っても、何かマイナー感拭いきれず、睡眠、夢、最後に1回だけ明晰夢について話しました。

今回も収録楽しかったです。以前出演した時は、ディレクターの加藤さんもアナウンサーの方も忙しそうだったのですが、今回は終了してから少し雑談も出来ました。加藤さんは番組始めて二十余年、1回も休まず番組を仕切ってきたと言います。凄いです。トータルで75分の分を収録時間2時間半弱で進めてしまうのですから。一方、アナウンサーの方は毎週色々な人が出てきますが、YBCアナウンサー部で収録時間に空いている人を、フリーのアナウンサーの方も含めて選んでくるとの事です。その3人でひとつの作品を作り上げるような楽しさもあり、これはチームスポーツやバンドなどにも通じる物が有るのではと思った次第です。



令和7年度 鶴岡地区医師会釣り大会

日時：令和7年10月18日(土)12:00～19日(日)12:00
場所：日本海一円

今年の釣り大会は土曜日、雨。日曜日は風、高波と悪天候でしたが、事故など無く大変良かったと思います。土曜日に釣りにでかけたグループは雨に降られましたが、かなりの釣果をあげていました。超大物は出ませんでしたが、魚数では参加者の多くは例年以上の成果をあげていて袋いっぱいにして計量に臨んでいました。

親子で参加いただいた方もいて、和気あいあいでした。私事ですが、昔釣り大会にまだ小さい息子を連れて参加した頃が懐かしく思い出されました。

さて今年の釣り大会では、大変なことが起こりました。三浦クリニックから初参加してくれた女性2人がなんとぶっちぎりで優勝と準優勝を独占してしまいました。これは釣り大会が始まって以来の出来事で、大会に新たな一歩をするす快挙です。

そういえば日本でも高市さんが女性初の総理大臣誕生となり大いに期待されています。女性躍進の年なのでしょうか。少しずつ参加者も増えてきていろんな職種の人たちが集まってコミュニケーションをとる事はお互いを理解するうえでとても大事なことと思います。

来年度は是非多くの方々に参加していただきたいと思う次第です。

釣り同好会会長 齋藤 高志

釣り大会 結果

優 勝	長谷川 裕子
準 優 勝	栗田 朋子
第 三 位	御橋 慶治
大 物 賞	齋藤 高志 (二歳 15cm)
大 漁 賞	長谷川 裕子 (67匹)
五 目 賞	長谷川 裕子 (10種)
ラッキー7賞 (7位)	
	菅原 萌
ブービー賞	小林 奈保子



5年間の釣果と仲間への感謝

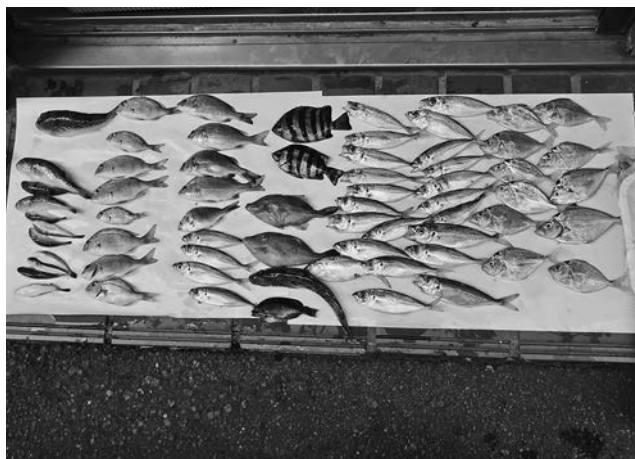
三浦クリニック 長谷川 裕子

釣り歴5年。釣りを始めたのは、ちょうど三浦クリニックに入職した頃です。物置小屋の片付けで、1本の釣り竿を見つけたのがきっかけです。始めた頃は、竿の扱いは元より餌の付け方さえ分からなかったのですが、釣り場で出会った沢山の方々に教えていただき、現在に至ります。

釣りに行くのは週2回くらい。天気次第ですが、一日勤務の日は昼休み中に、半日勤務の日は海に直行です。この度、三浦院長に強く背中を押していただき、大会に参加する事になりました。

大会初日は厳しい天候に見舞われましたが、一人で加茂北防波堤に立ち、日頃の院長とスタッフの励ましを胸に、期待に応えられる様、ずぶ濡れになりながら18時まで臨みました。2日目は好天の下、同僚の栗田さんと6時から加茂港で釣行。しかし、釣っても釣っても小物ばかり。酒田港では他の参加者さん達が大きな釣果であろうと想像していましたので、まさか私たちが優勝、準優勝を獲得するとは夢にも思っていませんでした。齋藤先生より人生で初めてトロフィーをいただいた事は身に余る光栄でした。

最後になりますが、この様な素晴らしい大会を企画してくださいました関係者各位に心より感謝いたしますと共に、今後益々盛大で楽しい親睦の場となりますよう祈っております。



Introduction

研修医



はじめまして。鶴岡市立
荘内病院で初期研修を行っ
ています、山形大学出身の
光庵由紀です。地元は栃木
県宇都宮市です。大学時代

を過ごした山形県には、た

くさんの思い出があります。
もともこの病院を知ったのは、大学の音楽
サークルで演奏活動に訪れたことがきっかけで
した。クラリネットを担当しており、大学一年
生の頃、マイクロバスに楽器を積み込み、仲間
とぎゅうぎゅうになって荘内病院へ向かったこ
とを今でもよく覚えています。山形市の外へ出
るのも初めてで、右も左も（西も東も）分から
ない頃。月山を越える途中、「一体どこへ連れ
ていかれるんだろう」なんて思っていたような
気がします。

病院ロビーでの演奏では、患者さんや職員の
方々が温かく耳を傾けてくださり、「こんな穏
やかな雰囲気の中で働けたら素敵だな」と感
じたことを、今こうして現実のものにできてい
ることがうれしく思います。

医師を志した理由を一言で言えば、「人の支
えになりたい」という気持ちです。少し変わっ
たきっかけですが、映画『ベイマックス』も私
の中で印象的な作品です。ケアロボットが天才
少年とともに悪を倒すというヒーロー物語であ

鶴岡市立荘内病院臨床研修医 1 年目 こうあん ゆ き
光庵 由紀

りながら、作中ではベイマックスがその場その
場で必要なケアを提供する姿が描かれていま
す。単なる戦うロボットではなく、「目の前の
人を癒やす存在」であるところに惹かれました。
機械が人に代わって医療を担う時代が本当
に来るかは分かりませんが、もしそんな未来が
来るなら、白くて柔らかく、穏やかなベイマッ
クスのような存在であってほしい。そして私自
身も、患者さんに安心を与えられるような医師
でありたいと思っています。

研修医としての日々は、戸惑いや反省の連続
ですが、指導医の先生方、コメディカルの皆さん、
そして患者さんの温かい言葉に支えられなが
ら学びを重ねています。診療の現場では、病
気だけでなく、その人の生活や思いを大切にす
ることの難しさを実感しています。忙しい中にも、
患者さんの笑顔や「ありがとう」という言葉
に励まされる瞬間があり、それが明日への力
になります。

今後は、確かな知識と技術を身につけるとと
もに、患者さんの心に寄り添える医師を目指し
て努力を重ねていきたいと思っています。地域の皆
さまの健康を支える一員として少しずつ恩返し
ができるよう、これからも精進してまいります。
どうぞよろしくお願いいたします。

山形県救急医療・救急業務関係者知事表彰

この度 栄えある表彰を受けられました。誠におめでとうございます。

長年にわたり地域の救急医療・救急業務にご尽力された功績が認められ、山形県知事より表彰されました。(令和7年9月9日表彰)



おかべ内科胃腸科医院
岡部 進 先生

中村整形外科医院
中村 秀明 先生

新入会員紹介 ～令和7年9月8日入会～

①氏名 ②生まれた所・育った所 ③勤務先・診療科目
④出身校 ⑤趣味・特技 ⑥鶴岡地区医師会会員の皆さんへ一言



- ① ^{あら} ^{かわ} 荒川 わかな
- ② 青森県・山形県
- ③ わかな内科医院・内科、リハビリテーション科
- ④ 日本大学
- ⑤ ピラティス、最近ゴルフも練習始めました。お遍路は生きている間に結願したいです。
- ⑥ はじめまして、荒川わかなと申します。私は鶴岡で育ちました。内科研修後、リハビリテーション科に転科してリハビリテーション医となり、東京では生活期の患者さんのお困り事の相談や体調管理で、訪問診療に携わっています。わかな内科医院は長年、生活習慣病の予防や病気の治療に、患者さんに寄り添いながら診療してきましたが、引き続き地域の皆様が「より自分らしく生きる」ためのお手伝いできればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

医師会ニューフェイス

①氏名 ②所属 ③趣味・特技 ④ひとこと



- ① ^お ^{がた} ^も ^か 尾形 萌 華 (令和7年10月1日採用)
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
看護課 看護師
- ③ ドラマ・映画鑑賞
- ④ 鶴岡に住むのは初めてです。不安もありますが、仕事も鶴岡のことたくさん教えてもらえたら嬉しいです。よろしくお願いいたします。



- ① ^{まつ} ^だ ^み ^な 松田 実 奈 (令和7年10月1日採用)
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
看護課 看護師
- ③ ドライブ、温泉に行く
- ④ 一日も早く業務に慣れ、戦力となれるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

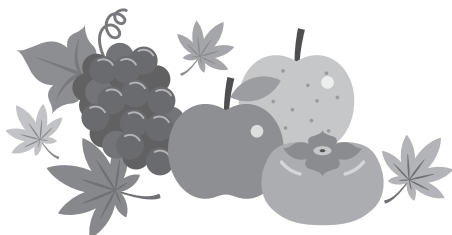


- ① ^し ^だ ^{ゆう} ^{すけ} 志田 優 介 (令和7年11月1日採用)
- ② 荘内地区健康管理センター
事業推進課 一般職
- ③ キャンプ・野球
- ④ 少しでも早く仕事に慣れて、皆様の仕事に役立てるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



9 月 ・ 10 月 行 事 表

9 月 3 日	総務委員会	10 月 2 日	学術広報委員会
4 日	県医医業承継セミナー	3 日	医師会勉強会
5 日	臨時理事会	4 日	鶴岡天腎祭
6 日	食支援フォーラム in 庄内2025	6 日	南庄内在宅医療を考える会世話人会
8 日	整形外科症例検討会	7 日	庄内南部地域連携パス推進協議会運営委員会
9 日	庄内南部地域連携パス推進協議会全体会	8 日	県医第 7 回常任理事会
10 日	地域感染対策合同カンファレンス	〃	緩和ケア症例検討会
〃	県医第 6 回常任理事会	10 日	湯田川温泉リハビリテーション病院医療機器等整備検討委員会ならびに経営委員会
〃	緩和ケア症例検討会	12 日	NPO地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク 第 4 回全国の集い in 鶴岡 2025 (～13日)
12 日	特定健康診査未受診者対策事業（みなし健診）に関する説明会	14 日	県医消化器検診中央委員会
〃	医師会勉強会	〃	大腿骨個別パス委員会作業部会
17 日	職員採用面接試験	17 日	職員採用面接試験
〃	庄内PJ運営委員会・コアメンバー会議	〃	県医医療従事者安全確保対策委員会
19 日	庄内高齢者ケア学会	18 日	医師会釣り大会 (～19日)
〃	鶴岡地区三師会	20 日	地域一体型NST「南庄内・たべるを支援し隊」定例会議
22 日	用度委員会	〃	県医禁煙推進委員会
〃	定例理事会	〃	整形外科症例検討会
23 日	中目千之先生 旭日小綬章受章記念祝賀会	21 日	鶴岡市立庄内病院経営強化プラン評価委員会
24 日	県医師信用組合理事会	22 日	県医師信用組合理事会
〃	県医第 6 回全理事会	〃	県医第 7 回全理事会
25 日	地域医療課題検討委員会	〃	庄内 AMR 等対策ネットワーク コアメンバー会議
27 日	産業医学研修会	23 日	第 4 回健診システム選定委員会
29 日	鶴岡地区救急医療対策協議会総会	24 日	観楓会、長寿祝い
〃	鶴岡市休日夜間診療推進委員会	26 日	鶴岡みらい健康調査セミナー2025
30 日	庄内病院地域医療連携推進協議会	27 日	県医呼吸器検診中央委員会
		〃	定例理事会
		28 日	県医乳がん検診中央委員会
		29 日	三川町障害支援区分認定審査会



令和 7 年度 第 6 回 定 例 理 事 会

(令和 7 年 9 月 22 日)

出席者 会 長：福原晶子
副 会 長：石原 良 菅原真樹
理 事：武田憲夫 三原一郎 蘆野吉和 本田 学 吉田 宏
岡田恒人 鈴木 聡 三浦道治 渡邊秀平 中目哲平
監 事：阿部周市 木根淵智子 真島英太
議 長：堀内隆三
副 議 長：三井卓弥
事 務 局：土屋清光 五十嵐亜希 渡部恵美 齋藤久芳

報 告

- (1) 県医第 5 回全理事会について（阿部監事）
8 月 27 日(木) 15：30 県医師会館／オンライン開催
- (2) 県医第 6 回常任理事会について（鈴木理事）
9 月 10 日(木) 15：30 県医師会館／オンライン開催
- (3) 全国医師会共同利用施設総会について（福原会長）
8 月 30 日(土)・8 月 31 日(日) 高崎芸術劇場・ホテルメトロポリタン高崎
- (4) 食支援フォーラム in 庄内 2025 について（三原理事）
9 月 6 日(土) 13：30 東北公益文科大学公益ホール
- (5) 医師会勉強会について（菅原副会長）
9 月 12 日(金) 19：00 講堂
- (6) 令和 7 年 8 月期事業会計収入実績について（参考）
- (7) その他
 - ・鶴岡地区三師会について（福原会長）
9 月 19 日(金) 19：00 グランドエル・サン

協 議

- (1) 会員の入会について（菅原副会長）
9 月 8 日付 B 会員 荒川 わかな（あらかわ わかな）先生 わかな内科医院
- (2) 五者懇談会（市町長・部課長、庄内保健所、庄内病院、こころの医療センター、医師会役員懇談会）
の話題提供について（福原会長）
12 月 9 日(火) 18：30 グランドエル・サン
- (3) 職員の採用および募集人数の変更について（三浦理事）
 - ・職員採用面接試験
9 月 17 日(木) 18：30 会議室
 - ・募集人数の変更
- (4) 用度委員会について（三浦理事）
9 月 22 日(月) 18：45 会議室

- (5) 鶴岡市国民健康保険運営協議会委員の推薦について（事務局）
 (6) 固定資産の処分について（事務局）

令和 7 年度 第 7 回 定 例 理 事 会

（令和 7 年 10 月 27 日）

出席者 会 長：福原晶子
 副 会 長：石原 良 菅原真樹
 理 事：武田憲夫 三原一郎 蘆野吉和 本田 学 吉田 宏
 岡田恒人 鈴木 聡 三浦道治 渡邊秀平 中目哲平
 監 事：阿部周市 木根淵智子 真島英太
 議 長：堀内隆三
 副 議 長：三井卓弥
 事 務 局：土屋清光 五十嵐亜希 佐藤 豊 五十嵐ちづる

報 告

- (1) 代表理事の上半期の職務執行状況について（福原会長、石原副会長、菅原副会長）
- (2) 県医第 6 回全理事会、第 7 回全理事会について（阿部監事）
 - 9 月 24 日(水) 15:30 県医師会館／オンライン開催
 - 10 月 22 日(水) 15:30 県医師会館／オンライン開催
- (3) 県医第 7 回常任理事会について（鈴木理事）
 - 10 月 8 日(水) 15:30 県医師会館／オンライン開催
- (4) 地域医療課題検討委員会について（菅原副会長）
 - 9 月 25 日(木) 19:00 会議室
- (5) 鶴岡地区救急医療対策協議会総会について（福原会長）
 - 9 月 29 日(月) 19:00 第 3 学区コミュニティセンター
- (6) 鶴岡市休日夜間診療推進委員会について（福原会長）
 - 9 月 29 日(月) 19:30 第 3 学区コミュニティセンター
- (7) 荘内病院地域医療連携推進協議会について（福原会長）
 - 9 月 30 日(火) 19:00 荘内病院
- (8) 医師会勉強会について（菅原副会長）
 - 10 月 3 日(金) 19:00 講堂
- (9) 鶴岡天腎祭について（福原会長）
 - 10 月 4 日(土) 13:00 鶴岡市総合保健福祉センターにこ・ふる
- (10) 湯田川温泉リハビリテーション病院医療機器等整備検討委員会ならびに経営委員会について（武田理事）
 - 10 月 10 日(金) 19:00 講堂
- (11) NPO 地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク第 4 回全国の集い in 鶴岡 2025 について（三原理事）

- 10月12日(日)・13日(月) マリカ東館・西館
- (12) 県医医療従事者安全確保対策委員会について（石原副会長）
10月17日(金) 18：30 県医師会館／オンライン開催
- (13) 県医禁煙推進委員会について（菅原副会長）
10月20日(月) 18：30 県医師会館／オンライン開催
- (14) 鶴岡市立荘内病院経営強化プラン評価委員会について（福原会長）
10月21日(火) 19：00 荘内病院
- (15) 庄内AMR等対策ネットワーク コアメンバー会議について（岡田理事）
10月22日(水) 18：00 オンライン開催
- (16) 鶴岡みらい健康調査セミナー2025について（福原会長）
10月26日(日) 10：00 鶴岡市先端研究産業支援センター
- (17) 五者懇談会（市町長・部課長、庄内保健所、荘内病院、こころの医療センター、医師会役員懇談会）
の話題提供について（福原会長）
12月9日(火) 18：30 グランドエル・サン
- (18) 会員の退会について（菅原副会長）
10月31日付 B会員 佐藤 純子 先生（県立こども医療療育センター庄内支所）
10月31日付 B会員 和田 了 先生（自宅会員）
- (19) 職員の退職について（三浦理事）
- (20) 令和7年9月期事業会計収入実績について（参考）
- (21) その他
・「鶴岡・田川地域包括ケアパス」への参加のお願いについて（鈴木理事）
・観楓会、長寿祝いについて（福原会長）
10月24日(金) 19：00 ベルナール鶴岡

協 議

- (1) 職員の採用および募集人数の変更について（三浦理事）
・職員採用面接試験
10月17日(金) 18：30 会議室
・募集人数の変更
- (2) 用度委員会小委員会について（三浦理事）
10月21日(火) 11：30 会議室
- (3) 第4回健診システム選定委員会について（石原副会長）
10月23日(木) 19：00 健康管理センター会議室
- (4) 学術広報委員会について（菅原副会長）
10月2日(木) 19：00 会議室
- (5) 東北厚生局及び山形県による社会保険医療担当者の指導に係る実施会場の集約化について（福原会長）
- (6) 協賛・後援の依頼について（事務局）

表 紙

「長崎の夜景」

荘内地区健康管理センター 保健企画課
課長 佐藤 洋介

一人旅で撮影した長崎の夜景です。人で賑わう稲佐山を避け、あえてグラバー邸側から。輝かしいものには裏側もあり、それもまた美しいものでした。

長崎はモナコ、香港と並び世界新三大夜景にも選ばれています。

編 集 後 記

暑くて長い夏がようやく終わりました。それにしても今年の夏は本当に暑く、6-8月の記録的な高温と7月の少雨が特徴的でした。歴代最高気温を各地で観測し、40度以上となる地点が連日報道されました。翻って7月の鶴岡市の降雨量はわずか5mm。田んぼは干上がり稲作の出来が心配されました。暑い中、連日庭の水遣りに勤しんだのを覚えています。

暑さが残る10月から一転し11月は一気に晩秋らしい寒さが到来しました。12月には早くも真冬並みの寒気が南下し、日本海の海水温が高いため雪雲が発達しやすく、大雪に注意が必要とのこと。「異常気象が普通の時代に突入」し「四季がなくなり長い夏と冬だけの二季になる」と気象学者が指摘するのも頷けます。

今年もMLB（メジャーリーグベースボール）のポストシーズンが始まり、日本人選手が活躍する試合を連日楽しみました。緻密な戦術やスモールベースボールを特徴とするNPB（日本野球機構）に対して、MLBの魅力は何と言ってもその規格外のパワーとスピードにあります。身長190cm超えの筋骨隆々の大男が、軽々本塁打を打ったり盗塁したりします。投手は球速100マイル（161km/hr）超えを連発し三振を奪います。野手はワケわからん体勢で打球を捕り、アクロバティックな体勢で矢のような送球をします。ピッチクロックを使って投球間隔を短くし（15-20秒）、試合短縮に貢献するのも有り難いです。ワールドシリーズではゲームセブンまでもつれ込み、ハラハラどきどき大接戦の末、今年もドジャースに栄冠が輝きました。

（吉田 宏）

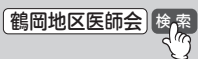
目 次

・表 紙	1
・鶴岡地区医師会勉強会抄録	2
・観楓会、長寿祝い	3
・鶴岡地区三師会	4
・第15回「鶴岡天腎祭」	5
・中目千之先生 旭日小綬章受章記念祝賀会	6
・YBCラジオ「ドクターアドバイスで きょうも元気」ラジオ出演体験記	7
・令和7年度 鶴岡地区医師会釣り大会	8
・Introduction 研修医	10
・山形県救急医療・救急業務関係者知事表彰	11
・新入会員紹介	11
・医師会ニューフェイス	11
・9・10月行事表	12
・理事会報告	13
・編集後記	16

編集委員：菅原真樹・吉田 宏・阿部周市・三井卓弥・真島英太・中目哲平

発行所：一般社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail ishikai@tsuruoka-med.jp

ホームページにも掲載しております  URL <https://www.tsuruoka-med.jp>

印刷所：富士印刷株式会社 鶴岡市美咲町27-1 TEL 22-0936(代)